

MINATO BANK 2007.9

みなと銀行ミニディスクロージャー

第9期 営業の中間ご報告

(平成19年4月1日～平成19年9月30日)



想いを、まちへ。



みなと銀行

ごあいさつ



取締役頭取 籾本 信裕

皆さまには、平素よりみなと銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、皆さまに当行の平成19年9月期業績の概要や各種取組等についてご理解を深めていただきたく、本冊子を作成いたしました。ご参考にしていただければ幸いに存じます。

当行では、お客さまの幅広いニーズにお応えするため、金融サービスの拡充に努めるとともに、三井住友銀行グループの地域金融機関として、金融・情報サービスの提供を通じて、地域に貢献してまいります。

今後とも一層のご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月



CONTENTS

ごあいさつ	1
地域の皆さまへのご融資	2
地域の皆さまの利便性向上	4
TOPICS	6
業績ハイライト〔単体〕	7
当行の健全性	9
中間個別財務諸表	11
中間連結財務諸表	12
当行の概要	13

みなと銀行は、三井住友銀行グループです。

個人の皆さまへのご融資

住宅ローンを中心として、個人の皆さまのさまざまな資金ニーズにお応えするよう心掛けております。

住宅ローンについては、住宅ローンプラザの活動強化や全店一斉休日相談会の開催、新商品の開発などにも積極的に取り組んでおります。

その結果、平成19年9月期末の住宅ローン残高は前期末比92億円増加し、6,921億円となりました。

住宅ローン休日相談会の開催

皆さまの住宅購入、住宅ローン相談ニーズにお応えするため、平成15年10月より毎月第2、第4日曜日に県内50ヶ店で休日相談会を開催しております。



加古川住宅ローンプラザ（神戸新聞社提供）

住宅ローン商品

あなたの住宅購入計画をスムーズにバックアップ。

住宅ローン

- **みなと住宅ローン**----- 返済ペースに合わせた返済スタイルを実現し、返済のしやすさを追求します。
- **住宅借換ローン**----- 金利優遇期間が長い借換が住宅購入を促進します。
- **住み替えローン**----- 住み替えのしやすさを追求し、返済のしやすさを追求します。
- **みなと50年住宅ローン**----- 返済期間が長い返済スタイルを実現し、返済のしやすさを追求します。
- **みなと20年住宅ローン**----- 返済期間が短い返済スタイルを実現し、返済のしやすさを追求します。
- **フラット35**----- 返済期間が長い返済スタイルを実現し、返済のしやすさを追求します。
- **定期借付住宅ローン**----- 返済期間が長い返済スタイルを実現し、返済のしやすさを追求します。
- **レディース住宅ローン**----- 女性向け、返済のしやすさを追求し、返済のしやすさを追求します。
- **大団住宅ローン**----- 返済期間が長い返済スタイルを実現し、返済のしやすさを追求します。

あなたのための安心は、

- **100%保証住宅ローン**----- 返済のしやすさを追求し、返済のしやすさを追求します。
- **民間住宅ローン**----- 返済のしやすさを追求し、返済のしやすさを追求します。

5大新商品 5つの最良条件検索

※詳細は各店舗のホームページをご覧ください。

個人ローン商品

<p>フリーローン</p> <p>リフォーム資金に。</p>	<p>リフォームローン</p> <p>リフォーム資金に。</p>	<p>Qpoint</p> <p>お金の使い方をサポート。</p>	<p>マイカーローン</p> <p>車の購入・借換に。</p>	<p>教育ローン</p> <p>教育資金に。</p>
--------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------	----------------------------

地域の皆さまの利便性向上（さまざまなサービスを展開しております）

テレフォン・インターネット専用 海岸通支店を開設

平成19年4月、インターネットや電話で定期預金等のお預け入れ・お引き出し等がご利用いただける個人のお客さま専用の「海岸通支店」を開設いたしました。

お近くに当行の店舗がないお客さまや日中にご来店できないお客さまにも、ご来店いただくことなく当行所定のメールオーダーにより総合口座を開設のうえ、おトクな専用定期預金にお預け入れいただけるようになりました。

- ・海岸通支店だけの「特別金利定期預金」をご用意
- ・海岸通支店専用プレミアム普通預金で所定の回数まで当行ATM時間外手数料等が無料
- ・ICキャッシュカードでセキュリティも安心



■ホームページ・URL
<http://www.minatobk.co.jp/kaigan/index.html>

上海駐在員事務所を開設

平成19年4月、地元企業の海外とのお取引や海外進出をサポートするため、みなと銀行では初の海外拠点となる上海駐在員事務所を開設いたしました。

中国長江デルタ経済圏における情報収集力と支援体制を強化し、国内窓口である「中国室」の機能とあわせて、お客さまのニーズと期待に一層的確かつ迅速にお応えしてまいります。

名称：株式会社みなと銀行 上海駐在員事務所
 （中国名：日本美納都銀行股份有限公司 上海代表処）
 所在地：中華人民共和国上海市銅仁路195号
 中欣大廈3312号室
 （ユナイテッドプラザ43階建の33階）



地域の皆さまの利便性向上（地域の皆さまの資産づくりをさまざまな形で応援いたします）

住宅ローンに関するご相談

地域の皆さまの住宅ローンに関するご相談に迅速にお応えするため、専門窓口として住宅ローンプラザを現在以下の14ヶ所に設置いたしております。

住宅ローンプラザ

姫路	079 (288) 2277	藤原台	078 (987) 3350
加古川	079 (423) 0248	三宮	078 (332) 6650
西明石	078 (927) 3062	住吉	078 (857) 5191
明石	078 (914) 1776	西宮	0798 (32) 6777
西神	078 (991) 9933	塚口	06 (6427) 8535
垂水	078 (707) 0472	伊丹	072 (772) 3111
板宿	078 (731) 2661	梅田	06 (6361) 3641

また、休日にも住宅ローンに関するご相談にお応えするため、以下の4ヶ所で休日営業を実施いたしております。

三宮住宅ローンプラザ

〔土曜・日曜 10:00~17:00〕

加古川・梅田・姫路住宅ローンプラザ

〔土曜 10:00~17:00〕

新たな住宅購入資金、ご自宅の改修資金、既存の住宅ローンのお借換のご相談等住宅ローンに関するあらゆるご相談に的確に対応いたします。



加古川住宅ローンプラザ（神戸新聞社提供）

資産運用に関するご相談

地域の皆さまの資産運用に関するさまざまなご相談にお応えするため、専門窓口としてコンサルティングプラザを3ヶ所（三宮・阪急六甲・鳴尾）設置いたしております。

当プラザでは、資産運用アドバイザーが多彩な商品ラインアップから、お客さまお一人おひとりにあったプランをご提案いたします。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

コンサルティングプラザ

三宮	078 (393) 2911
阪急六甲	078 (805) 5700
鳴尾	0798 (48) 5721



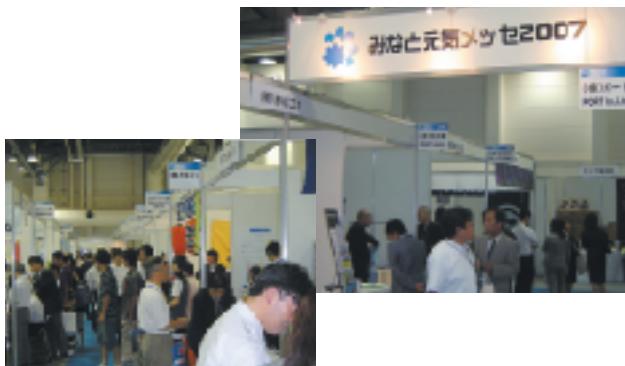
鳴尾コンサルティングプラザ

TOPICS

■平成19年9月「みなと元気メッセ2007」を開催

お取引先企業のビジネスチャンス拡大の場をご提供するため、9月13日・14日、神戸国際展示場で「みなと元気メッセ2007」（同時開催：国際フロンティア産業メッセ）を開催いたしました。全体で延べ1万8千人以上（2日間）の方にご来場いただきました。

また、13日には当行のお取引先企業同士の個別商談の場として「みなと会ビジネス商談会2007」を同時開催いたしました。



■平成19年10月 イオン銀行とのATM利用提携を開始

平成19年10月29日より株式会社イオン銀行とATM利用提携を開始いたしました。この提携により、全国のイオン銀行ATMで、みなと銀行のキャッシュカード（「お引き出し」「お振込」「残高照会」）がご利用いただけるようになりました。※法人カードは除きます。

お客さまの利便性向上のため、ATM提携ネットワークの充実に積極的に取り組んでまいります。

■平成19年10月 洲本支店新築移転OPEN!

このたび洲本支店を新築移転し、平成19年10月9日より新店舗で営業を開始いたしました。新店舗では、営業フロアを1階に集約し、複数の相談ブースと応接室を備え、2階には各種セミナー・相談会のためのセミナールームを設置し、また、駐車スペースの拡充もあわせて行っております。

今後とも、地域のお客さまのお役に立つ金融機関として、より一層のサービス向上に努めてまいります。

洲本支店

新住所：洲本市塩屋1丁目1番9号

電話：0799 (22) 1650



■平成19年11月 神戸ルミナリエキャンペーン実施

地元神戸の冬を飾る「神戸ルミナリエ」開催にあわせて、「神戸ルミナリエキャンペーン」を実施いたしております。くわしくは、お近くの支店窓口までお問い合わせください。

キャンペーン期間：
平成19年11月1日～
平成19年12月28日



業績ハイライト（単体）

損益状況

金利上昇により預金の支払利息が増加しましたが、一方で貸出金の利息収入の増加や投資信託等の預かり資産販売による手数料収入が順調に増加した結果、コア業務純益は前年同期比5億円増加の113億円となりました。

また、一般貸倒引当金が繰入に転じたものの、不良債権処理費用の減少や国債等債券売却損の減少等もあり、経常利益は前年同期比14億円増益の62億円、中間純利益は前年同期比4億円増益の30億円（過去最高）となりました。

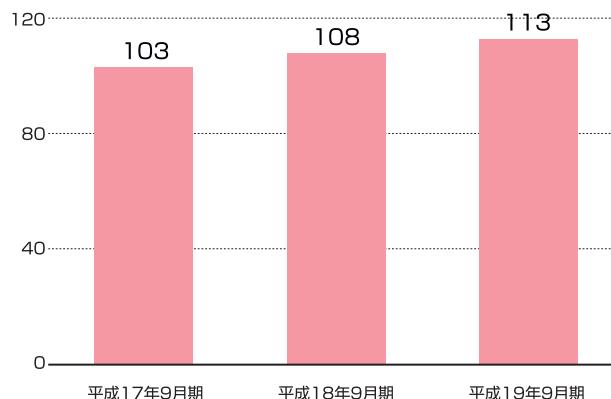
用語解説

コア業務純益

業務粗利益から国債等債券損益と経費を差し引いた収益で、銀行の本来業務による収益力を示すもので、一般企業の営業利益に相当する部分です。

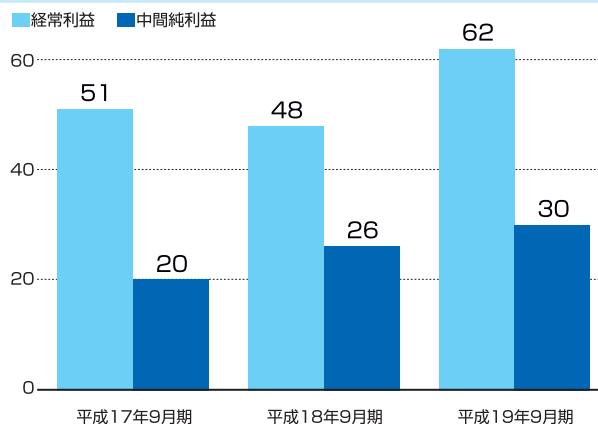
コア業務純益の推移

単位:億円



経常利益、中間純利益の推移

単位:億円



貸出金

地元企業の資金ニーズに対して積極的に対応するとともに、住宅ローン推進にも努めた結果、貸出金残高は、前期末比260億円増加し、2兆2,056億円となりました。

住宅ローン残高は、前期末比92億円増加し、6,921億円となりました。

預金

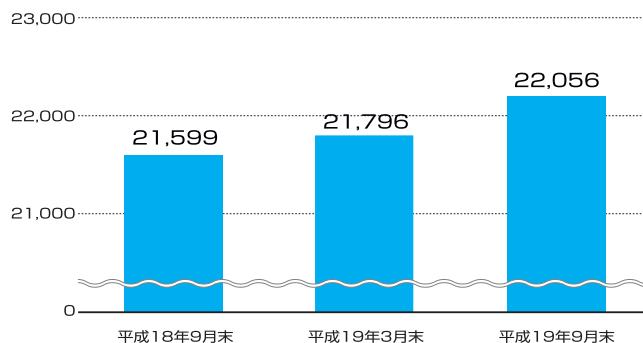
個人のお客さまのさまざまな資産運用ニーズにお応えするため、預金に加え投資信託、公共債、個人年金保険などの預かり資産の増強に努めました。

この結果、預金残高は、前期末比333億円増加し2兆5,305億円となりました。うち個人預金の残高は、前期末比242億円増加し、1兆9,826億円となりました。

個人預かり資産残高は、前期末比453億円増加し、5,782億円となりました。

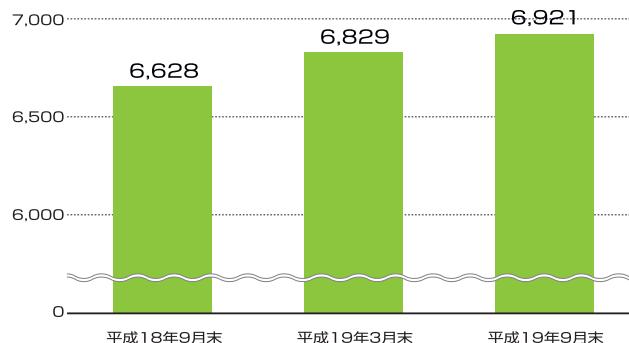
貸出金残高の推移

単位:億円



住宅ローン残高の推移

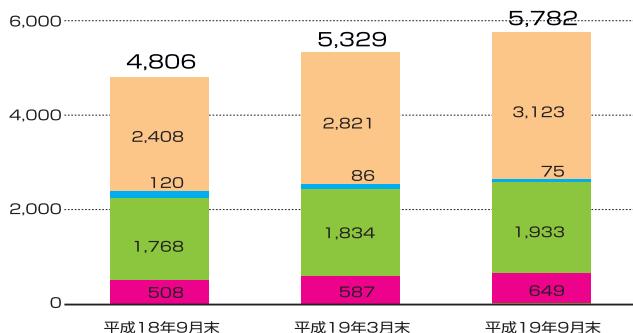
単位:億円



個人預かり資産残高の推移

単位:億円

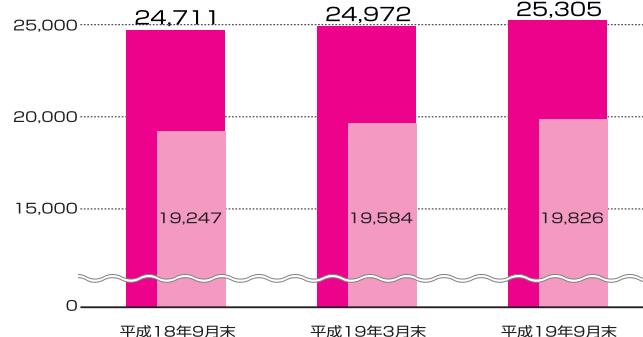
■投資信託 ■外貨預金 ■公共債 ■個人年金



預金残高の推移

単位:億円

■うち国内預金(個人)



■ 当行の健全性

自己資本比率（国内基準）

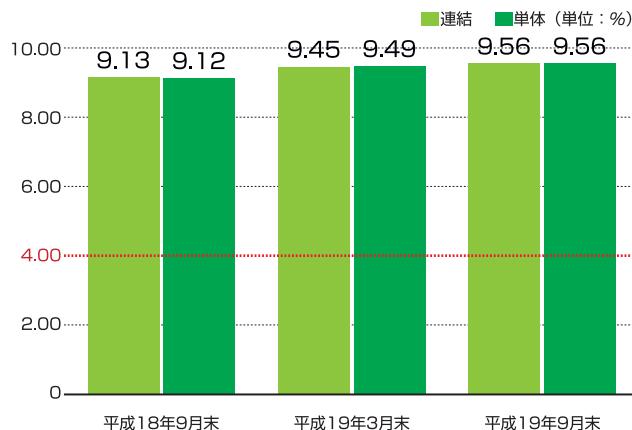
平成19年9月末の自己資本比率は、単体：9.56%（前期末比+0.07%）、連結：9.56%（同+0.11%）となりました。

国内基準で必要とされる4%を大幅に上回る水準を確保しております。

用語解説

自己資本比率

銀行の健全性・安全性を示す指標のひとつで海外に支店を持たない銀行は、国内基準で4%以上を確保することが求められています。



格付け

当行では、平成17年10月より株式会社日本格付研究所（JCR）から、長期優先債務格付け「A-」、平成19年5月よりムーディーズ・インベスターズ・サービス（Moody's）から、長期預金格付け「Aa2」を取得いたしております。

中立的な第三者による評価である格付けを取得することで、投資家や株主の皆さま、並びにお客さまに当行の収益性や健全性の判断基準を提供し、当行への理解をさらに深めていただきたいと思います。

用語解説

格付け

企業が発行する債券や預金等の元利金が約束どおり支払われる確実性の度合いを、中立的な第三者である格付機関が簡潔な記号で表したものです。

■ ムーディーズ (Moody's)
長期預金格付け「Aa2」

■ 日本格付研究所 (JCR)
長期優先債務格付け「A-」

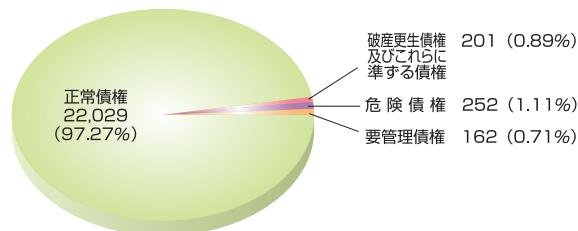
Aaa	AAA
Aa	AA
A	A
Baa	BBB
Ba	BB
B	B
Caa	CCC
Ca	CC
C	C
	D

金融再生法に基づく開示債権額について

一層の健全性向上を図るため、企業再生支援と不良債権処理の促進に努めました結果、金融再生法に基づく開示債権額は、前期末比29億円減少し、616億円となりました。これにより、開示債権比率（総与信に占める開示債権額の比率）も前期末比0.16%低下し2.72%となりました。また、開示債権については85.19%が担保・保証等及び引当金により保全されております。

構成比

単位:億円



用語解説

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

危険債権

経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

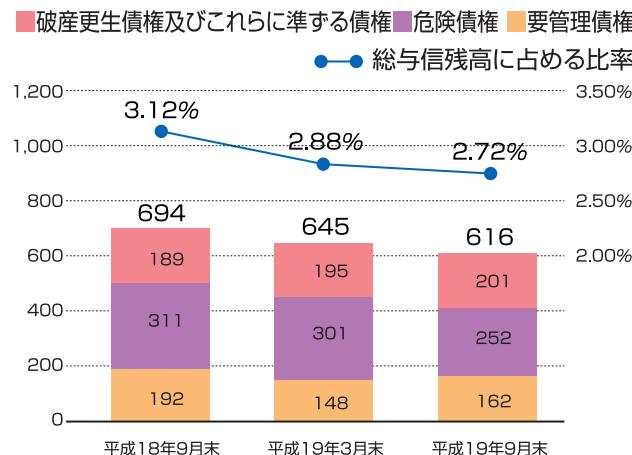
要管理債権

3ヵ月以上延滞債権と貸出条件緩和債権です。

(但し、破産更生債権及びこれらに準ずる債権・危険債権は除く)

金融再生法に基づく開示債権額の推移

単位:億円



引当・保全状況

単位:億円

平成19年9月末 (単体)	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	危険 債権	要管理 債権	合 計
与信残高(A)	201	252	162	616
担保・保証等(B)	141	142	62	345
貸倒引当金(C)	60	89	29	179
保 全 率 (B+C) / (A)	100.00%	91.84%	56.43%	85.19%

中間個別財務諸表

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間貸借対照表

(平成19年9月30日現在)

資産の部	
現金預け金	50,225
コーポレート	2,872
債券貸借取引支払保証金	49,542
商品有価証券	487
有価証券	393,117
貸出金	2,205,637
外国為替	5,622
その他資産	24,743
有形固定資産	23,635
無形固定資産	3,235
繰延税金資産	15,616
支払承諾見返	20,817
貸倒引当金	△24,330
資産の部合計	2,771,221

負債の部	
預渡性預金	2,530,554
借入金	36,954
外国為替	58,056
社債	149
その他の負債	5,000
賞与引当金	14,493
退職給付引当金	891
役員退職慰労引当金	3,273
預支金	208
支払引当金	684
負債の部合計	20,817
負債の部合計	2,671,084

純資産の部	
資本剰余金	27,484
資本剰余金	49,483
資本準備金	27,430
その他資本剰余金	22,053
利益剰余金	20,146
利益準備金	53
その他利益剰余金	20,093
別途積立金	2,325
繰越利益剰余金	17,768
自己株式	△112
株主資本合計	97,002
その他有価証券評価差額金	3,393
繰延ヘッジ損益	△258
評価・換算差額等合計	3,135
純資産の部合計	100,137
負債及び純資産の部合計	2,771,221

中間損益計算書 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)

経常収益	36,794
資金運用収益	26,990
(うち貸出金利息)	(24,474)
(うち有価証券利息配当金)	(2,016)
役員取引等収益	7,228
その他業務収益	1,320
その他経常収益	1,254
経常費用	30,582
資金調達費用	3,869
(うち預金利息)	(2,978)
役員取引等費用	2,043
その他業務費用	1,786
営業経費用	16,742
その他経常費用	6,140
経常利益	6,211
特別利益	3
償却債権取立益	3
特別損失	768
固定資産処分損失	87
その他の特別損失	681
税引前中間純利益	5,446
法人税・住民税及び事業税	2,165
法人税等調整額	196
中間純利益	3,084

中間株主資本等変動計算書

(自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)

	株主資本								評価・換算差額等				純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	繰越利益剰余金							利益剰余金合計
平成19年3月31日残高	27,484	27,430	22,053	49,483	—	2,325	16,379	18,704	△108	95,563	3,828	△320	3,508	99,071
中間会計期間中の変動額	—	—	—	—	53	—	△1,695	△1,642	—	△1,642	—	—	—	△1,642
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	3,084	3,084	—	3,084	—	—	—	3,084
中間純利益	—	—	—	—	—	—	—	—	△3	△3	—	—	—	△3
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△434	61	△373	△373
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	53	—	1,389	1,442	△3	1,438	△434	61	△373	1,065
平成19年9月30日残高	27,484	27,430	22,053	49,483	53	2,325	17,768	20,146	△112	97,002	3,393	△258	3,135	100,137

中間連結財務諸表

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結貸借対照表

(平成19年9月30日現在)

資産の部		負債の部	
現金預け金	50,242	預渡性預金	2,528,630
コールローン及び買入手形	2,872	借入金	36,954
債券貸借取引支払保証金	49,542	外国為替債	58,056
買入金銭債権	7,303	その他負債	149
商品有価証券	487	賞与引当金	5,000
有価証券	390,244	退職給付引当金	29,402
貸出金	2,191,944	役員退職慰労引当金	1,028
外国為替	5,622	預金払戻引当金	3,321
その他資産	27,942	支払承諾	241
有形固定資産	43,964	負債の部合計	2,684,993
無形固定資産	4,194		
繰延税金資産	16,159		
支払承諾見返	21,523		
貸倒引当金	△25,391		
資産の部合計	2,786,652		
		純資産の部	
		資本金	27,484
		資本剰余金	49,483
		利益剰余金	20,627
		自己株式	△112
		株主資本合計	97,483
		その他有価証券評価差額金	3,509
		繰延ヘッジ損益	△258
		評価・換算差額等合計	3,251
		少数株主持分	924
		純資産の部合計	101,658
		負債及び純資産の部合計	2,786,652

中間連結損益計算書

(自平成19年4月1日
至平成19年9月30日)

経常収益	40,881
資金運用収益	27,370
(うち貸出金利息)	(24,809)
(うち有価証券利息配当金)	(2,026)
役務取引等収益	8,199
その他業務収益	4,026
その他経常収益	1,284
経常費用	33,923
資金調達費用	3,869
(うち預金利息)	(2,976)
役務取引等費用	1,762
その他業務費用	4,096
営業経費	17,216
その他経常費用	6,978
経常利益	6,958
特別利益	10
償却債権取立益	10
特別損失	770
固定資産処分損失	89
その他の特別損失	681
税金等調整前中間純利益	6,198
法人税、住民税及び事業税	2,327
法人税等調整額	177
少数株主持分損	32
中間純利益	3,726

中間連結株主資本等変動計算書

(自平成19年4月1日
至平成19年9月30日)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日残高	27,484	49,483	18,543	△108	95,402	4,014	△320	3,694	977	100,073
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△1,642		△1,642			—		△1,642
中間純利益			3,726		3,726			—		3,726
自己株式の取得				△3	△3			—		△3
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△504	61	△443	△52	△495
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	2,084	△3	2,080	△504	61	△443	△52	1,585
平成19年9月30日残高	27,484	49,483	20,627	△112	97,483	3,509	△258	3,251	924	101,658

当行の概要

経営理念

地域のみなさまとともに歩みます

金融・情報サービスの提供を通じて、
地域に貢献します

会社概要

(平成19年9月30日現在)

名称	株式会社 みなと銀行
本店所在地	〒651-0193 神戸市中央区三宮町2丁目1番1号
電話番号	078-331-8141 (代表)
店舗数	108カ店 兵庫県 103カ店 大阪府 4カ店 東京都 1カ店
従業員数	1,886人
資本金	274億円
総資産	2兆7,712億円
預金	2兆5,305億円
貸出金	2兆2,056億円
自己資本比率 (国内基準)	単体 9.56% 連結 9.56%
格付け	長期優先債務格付け「A-」 (株式会社日本格付研究所) 長期預金格付け「A a2」 (ムーディーズ・インベスターズ・サービス)

役員

(平成19年9月30日現在)

※取締役頭取 (代表取締役)	籾 本 信 裕
※取締役副頭取 (代表取締役)	尾 野 俊 二
※専務取締役 (代表取締役)	竹 内 健 二
※常務取締役	永 原 修 二
※常務取締役	藤 原 博
※常務取締役	今 西 昭 文
取締役(非常勤)	太 田 敏 郎
常勤監査役	山 井 武 雄
常勤監査役	庵 原 敬 吾
監査役	岡 田 信 吾
監査役	津 田 貞 之
監査役	細 目 正 璋
執行役員	吉 田 晃
執行役員	吉 田 博 己
執行役員	正 木 誠 司
執行役員	丸 尾 秀 樹
執行役員	今 橋 正 隆
執行役員	森 薫
執行役員	井 上 嗣 朗
執行役員	後 藤 盛 次
執行役員	原 一 馬
執行役員	吉 田 裕 康
執行役員	白 玖 彰 宏
執行役員	小 原 泰 樹
執行役員	菱 田 信 之
執行役員	須 方 輝
執行役員	竹 本 尚 正

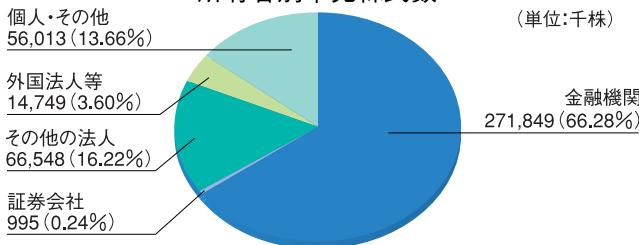
※印の取締役は、執行役員を兼務しております。

株式の状況

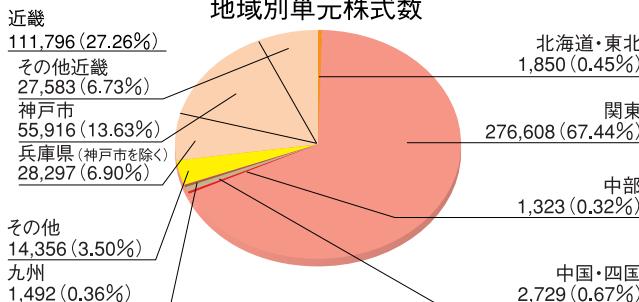
(平成19年9月30日現在)

株主数	10,619名
発行済株式の総数	410,940,977株

所有者別単元株式数



地域別単元株式数



大株主

(平成19年9月30日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社三井住友銀行	184,828	44.97
みなと銀行共栄会	15,327	3.72
日本生命保険相互会社	10,501	2.55
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	6,988	1.70
ニッセイ同和損害保険株式会社	6,661	1.62
三井住友海上火災保険株式会社	6,220	1.51
資産管理サービス信託銀行株式会社 (年金信託口)	6,071	1.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	5,515	1.34
住友生命保険相互会社	5,203	1.26
みなと銀行従業員持株会	4,544	1.10

- 注1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
 注2. 持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
 注3. 株式会社三井住友銀行の持株数には、同行が退職給付信託の信託財産として抛出し、議決権行使の指図権を留保している当行株式165,500千株 (持株比率40.27%) を含んでおります。なお、株主名簿上の名義は「日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井アセット信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)」であります。

株式のご案内

- 決算期
毎年3月31日
- 定時株主総会
毎年4月1日から3か月以内に開催します。
- 単元株式数
1,000株
- 配当金受領株主確定日
3月31日および中間配当を行うときは9月30日といたします。
* 配当金のお受け取りは、みなと銀行の預金口座振込をご利用いただけますと早くて便利です。
- 基準日
定時株主総会 毎年3月31日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 公告方法
神戸新聞および日本経済新聞に掲載
* 決算公告については当行ホームページに掲載いたします。

■株式事務取扱場所

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 (お問い合わせ先) 〒530-0004
大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話 (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)
0120-684-479 (大阪証券代行部)
インターネットホームページ <http://www.tr.mufj.jp/daikou/>

■株式上市市場

東京証券取引所 市場第一部
大阪証券取引所 市場第一部



みなと銀行

発行 平成19年12月
株式会社みなと銀行 企画部 広報室
〒651-0193 神戸市中央区三宮町2丁目1番1号
TEL.078 (331) 8141 (代表)
ホームページ : <http://www.minatobk.co.jp>

2100
市販配合率100%の写し紙に
使用しています。

**PRINTED WITH
SOYINK**
エコインキの認定を受けて
大豆由来のインキを使用しています。